

出雲地方へ社員旅行(2024年11月)

私(高根護康・S55卒)が代表取締役を務める(株)音響ハウスは、社員旅行として今年11月2,3日に出雲地方へ行ってきました。

総勢80名の大所帯となりましたので、二つのグループに分けてそれぞれ観光し、宿泊宿で合流するという手段を取りました。

出雲縁結び空港、米子鬼太郎空港からそれぞれ旅をスタートし、真ん中の玉造温泉で合流、翌日はクロスして米子方面、出雲方面へ観光して米子鬼太郎空港、出雲縁結び空港から帰京するというプランです。

Aグループは「島根・パワースポット巡礼の旅」と題し、JAL便で出雲縁結び空港に降り、島根ワイナリーでの昼食後稲佐の浜へ向かい、海岸の砂をビニール袋に詰め出雲大社へ参拝し、本殿裏の砂と交換してご利益のおすそ分けを頂いてきました。

Bグループは「島根の歴史・文化に触れる旅」です。こちらはANA便にて米子鬼太郎空港に降り、由志園にて昼食後足立美術館にて鑑賞。その後松江城へ向かい堀川遊覧船・和菓子作り体験・松江城周辺散策、と3班に分かれて楽しむ予定・・・でしたが、Bグループは当日荒天の影響を受け搭乗便の出発が遅れ、足立美術館での鑑賞時間も少なくなりました。松江城では堀川遊覧船も運休、城山公園にも立入できなくなり消化不良のまま宿泊宿へ向かうことになりました。

宿泊宿は玉造温泉「ホテル玉泉」。ここの宴会場でやっと全員が顔を合わせることになりましたが、幹事さんが社員旅行用の写真サーバーを開設し、みんなが撮った写真をそれぞれアップし、お互いの様子を知ることができとても楽しめました。時代ですね笑。

宴会ではビンゴゲームなどもあり、夕食もとても美味しく頂きました。特に仁多牛の陶板焼きが大好評でした。

翌日は前日の荒天もおさまり、山陰では珍しい雲一つない晴天です。

Aグループは米子方面へ向かいます。パワースポット巡礼の旅ですので、八重垣神社、神魂神社、熊野大社へと三社続けて参拝です。

その後足立美術館へ向かうのですが、鑑賞時間を多くとるために一文字家のお弁当を配り、車内移動中に昼食をとることに。一文字家さんは我々同期で双松会幹事長の景山直観君が社長を務めている皆さんご存じの故郷の有名企業です。4種類40食分のお弁当を朝宿に届けて頂き、みんなで美味しくいただきました。

足立美術館の後空港へ向かう途中境港魚センターに立ち寄り、お土産などを購入しましたが、今は施設が新しくなり、テーブルと椅子も置かれていて、買った魚やカニなどをその場で食べやすく切り分けてもらえ、その場で食べるできるようになっていました。これは良いですね。

Bグループは、稲佐の浜～出雲大社へ。昼食は「八雲」で割り子そば。そして出雲空港へ向かうこととなりました。

コロナ明け初の社員旅行ということもあり、社員みんなに楽しんでもらいたいという思いで、自分が企画できるこの故郷への社員旅行を独断で決めて実行してしまいましたが、ほぼ全員が初めての土地だったようで、普段行けない(行かない)ところなのでよかったと、うちの優しい社員たちは嬉しい感想をくれました。



①稲佐の浜



②出雲大社



③松江城



④八重垣神社鏡の池



⑤足立美術館



⑥一文字家のお弁当①



⑦一文字家のお弁当②